

令和7年度第1回 医療と介護の合同研修会 研修会報告

在宅医療において、入退院支援や在宅支援では、どこにいても、自身の価値観や意向に応じた生活を送ることができるように支援することが求められています。患者さんが安心して入院生活を送り退院後は住み慣れた地域での生活が続けられるように、医療・介護・福祉等の従事者は対象の個別性に応じたケアサービスを切れ目なく繋いでいく必要があります。

今回の合同研修会では、北庄内地域における在宅医療の現状を理解し、それぞれの立場・役割の中で連携強化や課題解決について考える機会にさせていただくことを目的に開催しました。

たくさんの方に関心を持っていただき、多業種132名の方がご参加くださいました。

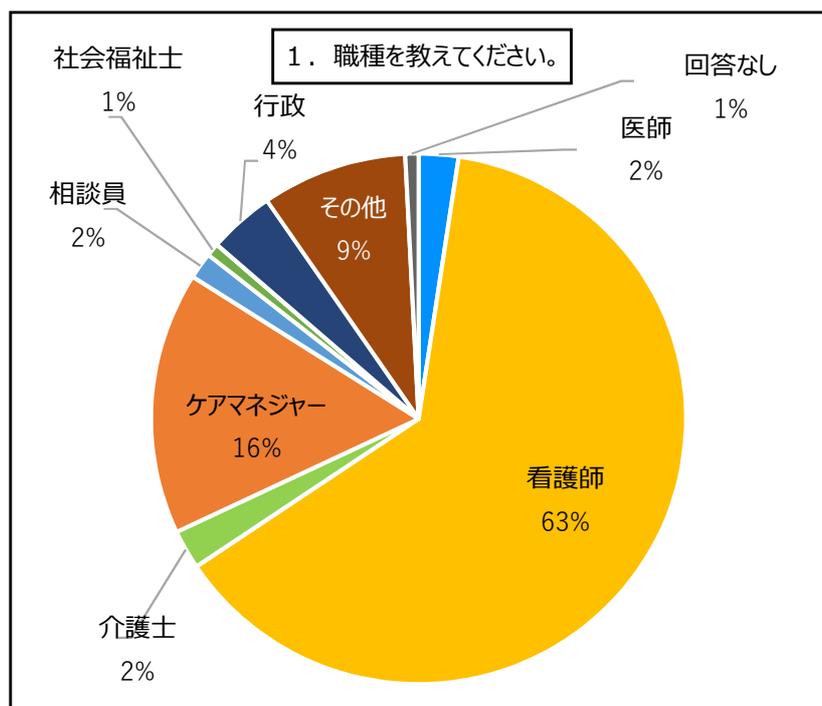
日 時	令和7年7月30日(水) 18:00~19:30
開催場所	日本海総合病院 2階 講堂
テーマ	北庄内地域における在宅医療の現状と今後の展望
講師	医療法人健友会 本間病院 院長 菅原 保 氏
開催内容	地域密着型中小病院(急性期、回復期、慢性期)の立場から ・後期高齢者の増加 85歳以上・一人暮らし・老老介護者の増加 ・医療・介護者不足 在宅医・施設医の高齢化 ・病院経営悪化、病床減が進んでいる ・介護事業所も利用者、マンパワー不足で維持が困難となってきたり ・地域存続のためにどうしたらよいか 医療と介護、行政の連携が必須
参加人数	参加者:132名(アンケート回答数125名)

I. 参加者について

1. 職種を教えてください。

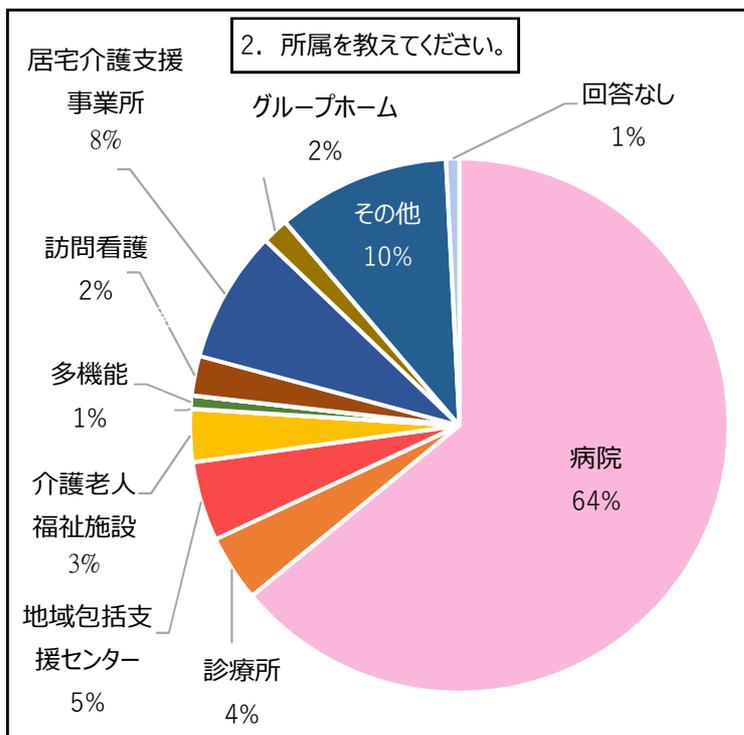
医師	3
看護師	79
介護士	3
ケアマネジャー	20
相談員	2
社会福祉士	1
行政	5
その他	11
回答なし	1
計	125

※その他内訳
 薬剤師(5)
 事務職(2)
 保健師(1)
 理学療法士(1)
 回答なし(2)



2. 所属を教えてください。

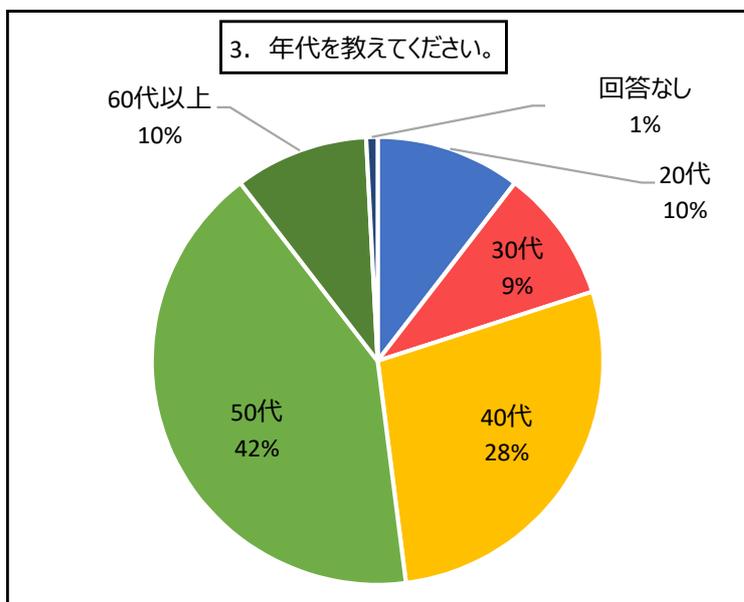
病院	80
診療所	5
地域包括支援センター	6
介護老人福祉施設	4
介護老人保健施設	0
多機能	1
有料老人ホーム	0
訪問看護	3
居宅介護支援事業所	10
グループホーム	2
その他	13
回答無し	1
計	125



※その他内訳
 薬局 (5)
 行政 (4)
 デイサービス (1)
 回答なし (2)

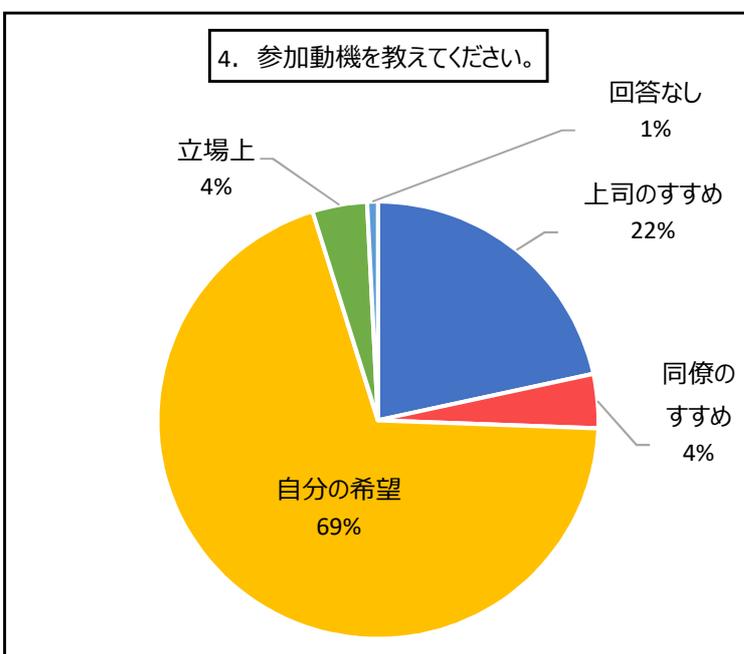
3. 年代を教えてください。

10代	0
20代	13
30代	12
40代	35
50代	52
60代以上	12
回答なし	1
計	125



4. 参加動機を教えてください。

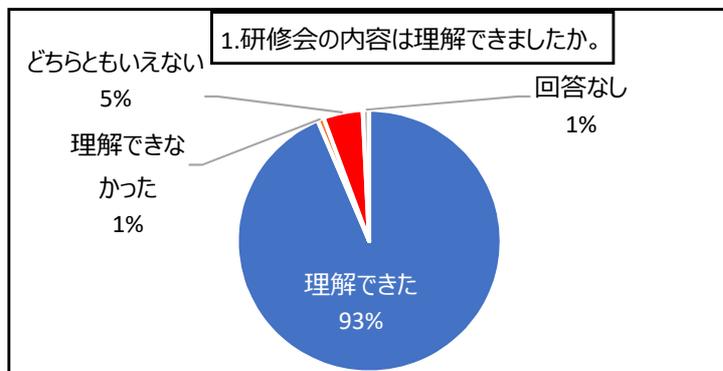
上司のすすめ	27
同僚のすすめ	5
自分の希望	87
立場上	5
回答なし	1
計	125



II. 研修会の内容について

1. 研修会の内容は理解できましたか。

理解できた	117
理解できなかった	1
どちらともいえない	6
回答なし	1
計	125

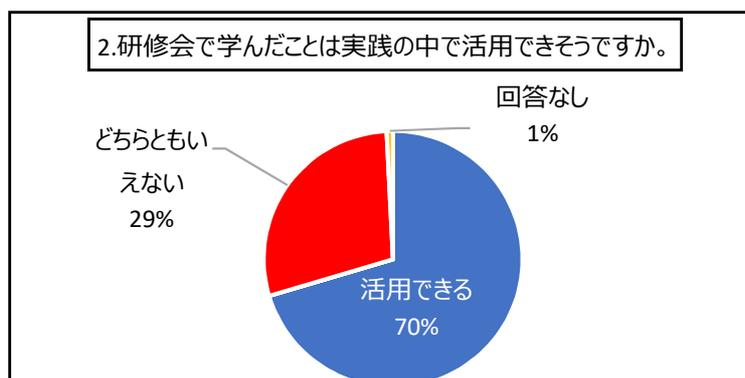


理解できた

(医師)	地域と高齢者の医療・介護の課題を考える機会になった。
(看護師)	独居、高齢者世帯の方をどのように支えていくのか、地域の医療・介護・福祉・行政の連携が鍵となることがよく理解できた。
(看護師)	高齢者の課題や在宅医療の課題がよくわかった。
(看護師)	北庄内地域医療の現状と課題について、客観的なデータ込でわかりやすい内容であった。
(介護士)	先生のスライドがわかりやすかった。
(介護支援専門員)	今後の課題が明確にみえているが・・・。
(介護支援専門員)	日頃の業務で施設入所(有料・サ高住)を選択する家族が多いと実感している。講義の中で「在宅」とはいえ、半分以上が施設への往診という現状と聞き納得した。また在宅医の高齢化も深刻な課題と感じた。
(相談員)	とても分かりやすく医療・介護の現状と課題を教えて頂いた。
(薬剤師)	現在、鶴岡において在宅を任っているが、北庄内の状況についてあまり把握できていなかった。今回の講演でよく分かった。
(保健師)	庄内の医療の今の状況を知ることができ、自分の行っている業務と結びつく所が多くあった。今後の方向性もおおまかにわかった。
(事務職)	非常に参考になった。

2. 研修会で学んだことは実践の中で活用できそうですか。

活用できる	88
活用できない	0
どちらともいえない	36
回答なし	1
計	125



活用できる

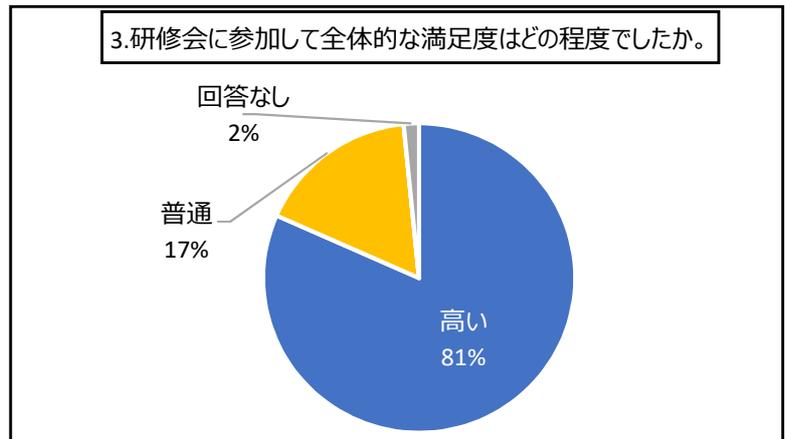
(看護師)	医療と介護の連携の大切さについて学ぶことができた。退院支援に活かしていきたい。
(看護師)	各病院での役割分担、病院の取り組み方を考える必要がある。
(看護師)	高度急性期から次の施設(リハビリ病院等)へ素早く連携することが意識的にできると思う。
(介護支援専門員)	それぞれの所で理解して頂きながら実践へと。
(相談員)	介護・医療双方で生き残りをかけるために連携してまわしていく必要があると改めて思った。
(行政)	元気な高齢者、地域づくり、住民への啓発の中で課題共有を図っていきたい。
(薬剤師)	医師の訪問の負担緩和をサポートしていく。
(保健師)	包括の役割を今いちど考え、地域との連携を強化していく!!

どちらともいえない

(医師)	職務の範囲でできないことが多い。
(看護師)	現在の職場で即実践とはいかない部分が多い。
(看護師)	結果的に課題への段階的な目標が具体的ではなかった。5人に1人の一人暮らしの高齢者をどう支えるのが医療人として必要か、について未だ結論がない。
(看護師)	再度、研修内容を学習し活用できることは何か考えていきたい。行政とのすすめ方が分からない。
(看護師)	早期転院に向け退院支援やACP意向を繋げることは尽力できるが、自分のできることがどこまで有効かは疑問である。
(介護支援専門員)	施設として何ができるのか、やるべきことは何なのか、現場の状況(人材不足)はどこも同じ。
(理学療法士)	課題も多く現場レベルで実行できることも難しいと感じた。
(その他)	歯科衛生士として在宅等の利用者さんになにかできるか考えていきたい。

3. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	102
普通	21
低い	0
回答なし	2
計	125



高い

(看護師)	まさに医療と介護の合同研修といえる内容だったと思う。
(看護師)	北庄内の在宅医療の現状や今後の課題展望について理解でき、勉強になった。
(看護師)	具体的かつ地域について学び、課題を知り今後の自己の役割を考えることができた。実践していきたいと思う。
(看護師)	酒田市の問題点、課題が良くわかった。
(看護師)	関心あるテーマであった。
(介護支援専門員)	医↔医、医↔介、介↔介の連携がこの研修会で意識付き、広く連携が広がっていったらいいなと思った。
(介護支援専門員)	久しぶりに医療・介護合同研修会に参加し、現状と課題、今後の展望等のお話が聞けて勉強になり、大変良かった。

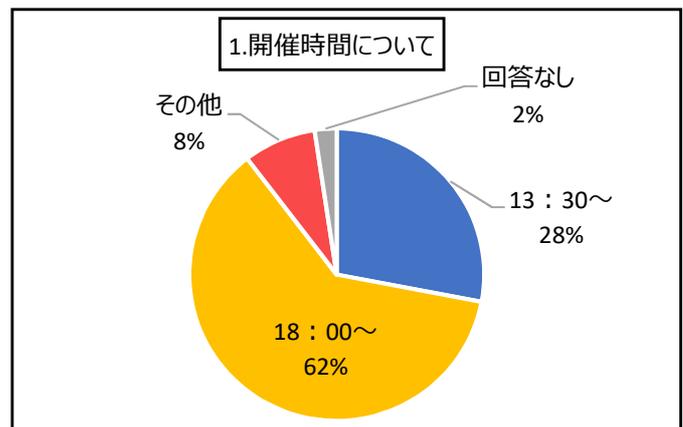
III. 今後の研修会の参加について

1. 開催時間について

13:30～	35
18:00～	77
その他	10
回答なし	3
計	125

※その他内訳

- 17:30～(3)
- 17:45～(2)
- 17:30または17:45(1)
- 18:30～(1)
- 曜日による(1)
- どちらでも(1)
- 可能であれば日中開催だとありがたい(1)



2.今後の研修会について、ご意見やご要望などございましたらお書きください。

(今回の研修会について)

(医師)	勉強になりました。ありがとうございました。
(看護師)	「日本海ヘルスケアネット総合診察医プログラム」の多職種パッケージも作ってほしい。NSですが参加してみたい。酒田市が県内で独居高齢者1位と今回はじめて知った。県内で庄内全体または北庄内地域ではどのような特徴があるのか知りたいと思った。
(看護師)	地域全体の動きや取り組みについてお話を伺うことができてよかった。院内で働く中で、2040年問題等については私個人にできることはなく、日々目の前の患者さんに対応するだけだが、よい方向にすすむとよいと思っている。
(看護師)	医療と介護の連携はますます重要と考える。
(看護師)	第2会場でも司会・演者の顔がみることができるとよいと思う。
(介護支援専門員)	大変勉強になった。明日からの仕事に活かしていきたいと思う。
(相談員)	これからいっぱい課題がある中、自施設だけ考えるのではなく、多方面からみたお互い様で助け合っていかなければならないと思った。

(ポンテについて・今後の要望)

(看護師)	認知症への対応、家庭へかえせるにはどうしたら良いか。
(介護支援専門員)	・ACP ・医療DXの現状(酒田市) ・ハラスメント対策 について知りたい。
(薬剤師)	Teamなど医療DXが北庄内地域でどの程度活用されているのか、今後の展望などきける会があったらよいと思う。ありがとうございました。



在宅医療・介護連携支援室 ポンテ